「滋賀県自殺対策計画(原案)」に対して提出された
意見・情報とそれらに対する滋賀県の考え方について

1 県民政策コメントの実施結果

平成29年12月20日(水)から平成30年1月19日(金)までの間、滋賀県民政策コメントに関する要綱(平成12年滋賀県告示第236号)に基づき、「滋賀県自殺対策計画(原案)」についての意見・情報の募集を行い、また、市町に意見照会を行った結果、県民および団体・市町から合計24件の意見・情報が寄せられました。

これらの意見・情報に対する滋賀県の考え方は次のとおりです。

なお、取りまとめにあたり、提出された意見・情報の一部は、その趣旨を損なわない範囲で内容を要約したものとなっています。

2 提出された意見・情報の内訳

項 目	県民	団体等	市町
はじめに			
基本理念			
自殺の現状		1件	1件
自殺対策における基本認識			
自殺対策の基本方針			
1. 生きることの包括的な支援として推進する			
2. 関連施策との有機的な連携を強化して総合的に取り組む			
3. 対応の段階に応じてレベルごとの対策を効果的に連動させる			
4. 普及啓発を推進する			
5. 県、市町、関係団体、民間団体、企業および県民の役割を明確化し、その連携・協働を推進する			
自殺対策の具体的取組			
1. 市町や圏域における実践的な取組を支援する		1件	
2. 社会全体の自殺リスクを低下させる		2件	
3. 県民一人ひとりの気づきと見守りを促す			

4．自殺対策に係る人材の育成の確保、養成および資質の向上を図る			
5．こころの健康を支援する環境の整備とこころの健康づくりを推進する		1件	
6．適切な精神保健医療福祉サービスを受けられるようにする		2件	
7．自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ		1件	
8．遺された人への支援を充実する		2件	
9．民間団体との連携を強化する			
10．自殺総合対策の推進に資する調査研究等を推進する		1件	
11．子ども・若者の自殺対策をさらに推進する		5件	
12．勤務問題による自殺対策をさらに推進する			
自殺対策の数値目標と推進体制		1件	
全般	2件	3件	
計	2件	21件	1件

合計 24件

3 提出された意見・情報とそれらに対する滋賀県の考え方

NO	頁	意見・情報の概要	滋賀県の考え方
自殺の現状			
1	2～4	P2・3・4の自殺者数の不統一の理由は？	<p>P3「3.年齢階層別自殺者数」は、警察庁「自殺統計」を引用していたが、他表と整合を図るため、厚生労働省「人口動態統計」を用いることとします。</p> <p>P3「4.原因・動機別自殺者数」は複数回答になっていることから不一致となります。説明として表に「複数回答」を追記します。</p> <p>P4「5.自殺未遂歴の有無と自殺者数の推移」は警察庁「自殺統計」であることから、数字の根拠が異なり不一致となります。</p>
2	4	自殺未遂歴の有無と自殺者数の推移で自殺者数が減っているのに、当然未遂歴の有りの方も減るのでは？減少を示すのならば、割合の減少もグラフに加えては？	自殺未遂者支援体制においては、自殺未遂歴のある自殺者が一人でも減少することを目指して取り組んでいることから、全体に対する割合ではなく、人数を示しているため、原案のとおりとします。
自殺対策の具体的取組			
3	8	<p>自殺未遂者支援を入口とした支援連携体制の確保について</p> <p>「圏域毎に体制の確保に取り組んでいる自殺未遂者への支援を通して自殺対策全般にかかる支援連携体制の確保を図る」とあるが、自殺未遂者の支援にかかる市町に対する県や保健所の支援や役割についても具体的に明記してほしい。</p>	<p>いただいたご意見の趣旨はP16「7.自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐ」「(2)自殺未遂者に対する支援体制の充実」の中に含まれますので、原案のとおりとします。</p>

4	8	<p>「1.市町や圏域における...推進する」のタイトル及び「保健、医療...関係機関・団体等が、それぞれの取組を...実施し、...自殺対策を推進...」との本文の記述と、具体的な取組に関する記述において県（センター）取組が主であることの整合如何。</p> <p>上記の項において各主体の役割を記述したらどうか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、標題および本文(3行目)を下記のとおり修正します。</p> <p>(修正前) 「1.市町や圏域における実践的な取組を推進する」</p> <p>(修正後) 「1.市町や圏域における実践的な取組を支援する」</p> <p>(修正前) 総合的な自殺対策を推進します。</p> <p>(修正後) 総合的な自殺対策を支援します。</p> <p>自殺対策の主体は、特定の分野や機関ではなく、既存のそれぞれの分野の機関や県民等、自殺対策としての活動の有無にかかわらず、社会全体の取組として、連携していく必要があることから、原案のとおりとします。</p>
5	9	<p>「(1)相談体制の充実と...」の本文中(5~6行目)「...するため、相談窓口の情報を発信...」は、「...情報を関係機関で共有し、早期の適切な対応(支援)につなげます」といった表現の方が適当では。</p>	<p>ここでは、「相談窓口情報」を記載しており、ご指摘の「関係機関の共有による早期の適切な対応」については、前段の「地域住民と公的な関係機関の協働による包括的な支援体制」の中で記載しているため、原案のとおりとします。</p>
6	10	<p>(9)ひきこもり...」本文中(9行目)「個別に応じた」は「個に応じた」または「個別(の)状況に応じた」が適当では。</p>	<p>ご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。</p> <p>(修正前) 個別に応じた支援の充実</p> <p>(修正後) 個別の状況に応じた支援の充実</p>

7	14	<p>「(2) 学校におけるこころの健康づくりの推進」で要請に応じて学校へ精神科医を派遣して教職員、地域関係者を対象に…」とあるが、子どもが学ぶ機会の保障を行うことも必要。</p>	<p>精神科医等を派遣する事業は教職員、地域関係者を対象として実施するための国庫事業です。</p> <p>子どもが学ぶ機会として、P12「(2) 児童生徒の自殺予防に資する教育の実施」の中で記載されているため、原案のとおりとします。</p>
8	15	<p>「(3) 子どもに対する…」を「(3) 子ども・若者…」に。</p>	<p>ご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。</p> <p>(修正前)</p> <p><u>(3) 子どもに対する精神保健医療サービスの提供体制の整備</u></p> <p>(修正後)</p> <p><u>(3) 子ども・若者に対する精神保健医療サービスの提供体制の整備</u></p>
9	15	<p>「(4) がん患者…」の本文中、「悲嘆(グリーフケア)」を正しく記述しては。</p>	<p>「グリーフ(grief)は、悲嘆・深い悲しみの中で、身近な人との死別などの喪失体験をした人が、その悲しみから立ち直れるようそばにいて立ち直る過程を支援すること」を用語解説に記載します。</p>
10	16	<p>7「自殺未遂者の再度の自殺を防ぐために」の文章は重複するので削除。</p>	<p>ご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。</p> <p>(修正前)</p> <p><u>自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐため、警察や消防などで対応した自殺未遂者や、救急病院等への搬送や入院となった自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐための関係機関の連携による支援体制を確保します。</u></p> <p>(修正後)</p> <p>警察や消防などで対応した自殺未遂者や、救急病院等への搬送や入院となった自殺未遂者の再度の自殺企図を防ぐための関係機関の連携による支援体制を確保します。</p>

11	16	<p>「自殺や自殺未遂者の発生直後に遺された人等」と自殺未遂で遺された人が記載されているのがわからない。亡くなっていないのではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。</p> <p>(修正前) 自殺や自殺未遂者の発生直後に遺された人等の心理的影響を</p> <p>(修正後) 自殺で遺された人等の心理的影響を</p>
12	17	<p>「学校等での事後対応」で3つ書かれているが「遺された子ども」「緊急支援専門家チーム」「遺族に寄り添った対応」等の記載が、親が亡くなった場合のことなのか、学校内における生徒の自殺のことなのか、想定されているケースがわからない。なお、親が亡くなった時に遺された子のケアを行う体制作りは必要だと思う。子どもは自分を責めるので。</p>	<p>「遺された子ども」とは、親を含め家族が自殺した場合と学校内における児童生徒の自殺の両方を想定しております。親を含め家族が亡くなった時の遺された子どもへのケアを大変重要であると認識しております。ご意見の趣旨は、今後の施策推進の参考にさせていただきます。</p>
13	17	<p>調査研究について、実態調査、分析等に期待する。予算や相関分析等の成果物を提供できるようにしてほしい。</p>	<p>自殺対策推進センターにおいて、適切な情報提供に努めます。</p>
14	18	<p>「11...」で「さらに」ということであるので、例えば「(1)...」の本文中「...スクールソーシャルワーカー等の配置、派遣を進めるなど学校における相談体制の充実...」の記述を「...進める中で...さらなる充実...」に改めるなど従前に増して取り組む旨表現にすべき。</p>	<p>ご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。</p> <p>(修正前) 「スクールソーシャルワーカー等の配置、派遣を進める中で学校における相談体制の充実を図ります。」</p> <p>(修正後) 「スクールソーシャルワーカー等の配置、派遣を進める中で学校における相談体制のさらなる充実を図ります。」</p>
15	18	<p>11.(2)理解しにくいので工夫が必要です。</p>	<p>ご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。</p>

		<p>(修正前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会において直面する可能性のある様々な困難・ストレスへの対処方法を身に付けることや解決力の向上に向けた教育や、SOSの出し方や出す力を育てる教育(援助希求的態度の育成)心の健康の保持に係る教育を推進するとともに、児童生徒の生きることの促進要因を増やすことを通じて自殺対策に資する教育に取り組みます。 <p>(修正後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々な困難・ストレスへの対処方法を身に付けることと解決力の向上に向けた教育に取り組みます。また、SOSの出し方や、こころの健康の保持に係る教育を推進するとともに、児童生徒の生きることの促進要因を増やすことを通じて自殺対策に資する教育に取り組みます。 <p>(修正前)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒と日々接している学級担任、養護教諭等の教職員や、学生相談に関わる大学等の教職員に対し、SOSの出し方を教えるだけでなく、子どもが出したSOSについて、周囲の大人が気づく感度をいかに高め、また、どのように受け止めたかなどについて普及啓発を実施するため、研修に資する教材の作成・配布などにより取組の支援を行うとともに、自殺者の遺児等に対するケアを含め教育相談を担当する教職員の資質向上のための研修等を実施します。 <p>(修正後)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒と日々接している学級担任、養護教諭等の教職員や、学生相談に関わる大学等の教職員に対し、子どもが出したSOSについて、気づく感度を高め、どのように受け止めるかなどの研修教材の作成・配布などにより取組の支援を行います。また、自殺者の遺児等に対するケアを含め教
--	--	---

			育相談を担当する教職員の資質向上のための研修等を実施します。
16	18	「こころん дайやる」?	「こころん дайやる」とは、育児や進路、いじめ、不登校、非行、虐待など子どもや親の不安・悩みの相談を専門の相談員がお受けする相談窓口で正式な名称です。
17	19	いじめ等のこどもの悩み 等で悩むこども	いじめ ご意見を踏まえ、下記のとおり修正します。 (修正前) 「いじめ等のこどもの悩みや相談に応じる深夜の電話相談「子どもナイト дайやる」を実施します。」 (修正後) 「いじめ等で悩むこどもの相談に応じる深夜の電話相談「子どもナイト дайやる」を合わせて24時間の相談を実施します。」
18	19	「11. 子ども・若者の自殺対策をさらに推進する」の(1)～(3)の取組は、全て子ども(18歳未満)への対策であるが、若者(18～39歳)への対策も記述すべき。	ご意見を踏まえ、(4)若者への支援の充実を追加し、下記項目を再掲で記載します。 ・支援を必要としている人が簡単に適切な支援策にかかる情報を得ることができるようSNSを活用した情報発信について研究します。(再掲) ・保健・医療・福祉・教育・労働等の分野の関係機関と連携の下でひきこもりに関する第一次相談窓口や地域支援者の人材育成、普及啓発用の機能を有する「ひきこもり支援センター」において、本人・家族に対する相談・支援等を行い、地域関係者との協働により、ひきこもり対策を推進します。(再掲) ・子ども・若者総合相談窓口、こころん дайやる、子ども家庭相談センター、滋賀県地域若者サポートステーション(サポス

			<p>テ)において、電話相談や面接相談により本人や家族からの相談に対して必要な支援を行います。(再掲)</p> <p>・関係機関が連携した「性暴力被害者総合ケアワンストップびわ湖(SATOCO)」による支援、「犯罪被害者総合窓口」による相談、カウンセリング体制の充実および被害者の心情に配慮した事情聴取など、被害者に寄り添ったきめ細かな取組を実施します。(再掲)</p>
自殺対策の数値目標と推進体制			
19	20	5年後の数値目標を設定していることを評価する。	滋賀県の自殺対策に関わる関係機関や団体が相互に連携を図りながら、各市町における施策との重層的な取組により、目標達成に向けて推進します。
全般			
20	-	専門用語等は、巻末に説明を。	ご意見を踏まえ、別紙用語解説を作成します。
21	-	「基本理念」「基本認識」「基本方針」「推進体制等」を簡単な図に表したらどうか。	ご意見を踏まえ、推進体制を図式化します。
22	-	計画の理念は、私が目指す社会と通じるものがある。私が提供しているものは「自己認知プログラム」と名付けた精神的自立支援の取組であり、このプログラムを通じて、精神面における阻害要因を減らし、促進要因をふやすことができる。精神的自立のための地域のつながりは自殺を抑制することから、我々の活動を県民に広く知っていただきより「生きやすい地域社会」の確立を目指したいと考えている。	ご意見の趣旨は、今後の施策推進の参考にさせていただきます。

23	-	<p>草津市の自殺対策行動計画の策定時の部長会議において、「過去に障害者を家族に持つ方が、殺人・放火に至った事件があった。障害を持つ方に対する対策を行う考えはあるのか。」と聞かれ「孤立化しない地域づくりや、ゲートキーパー作りの必要性を感じさせた事件と考える。困難な家庭事情を持った方々を孤立させない取り組みは自殺対策のみではなく、健康福祉部で検討、取り組みを進めている。」</p> <p>とのやりとりがあり、自殺対策としては「地域、学校、職域での孤立化防止対策」が施策のひとつとなった。</p> <p>しかし県内では、その後も無理心中事件が報道されるだけでもいくつか発生している。</p> <p>無理心中は、自死するのみならず、死にたいと思っていない相手の命も奪われてしまう悲惨なものである。</p> <p>各市町では、件数も少ないことから、県において、無理心中に特化した原因の検証や無理心中防止の研究を進めていただきたい。</p>	<p>ご意見の趣旨は、今後の施策推進の参考にさせていただきます。</p>
24	-	<p>「自殺は、その多くが追い込まれた末の死」とあり、共通認識だと思いますが、そうすると「誰が何が追い込んでいるのか」ということになります。学校で生徒は、生徒間のいじめを含むトラブルのほかに、教員、教育システムにストレスを感じていることがあります。これを学校関係者に発見を強いるには無理がありますので、学校外に早期発見する仕組みを構築されてはと考えます。次にそういった子供にとって家庭が逃げ場所となれば救われるのですが、学校になじまない子供を受け入</p>	<p>ご意見の趣旨は、今後の施策推進の参考にさせていただきます。</p>

	れられない保護者もおられますので、 そういった子供が安心して過ごせる場 所が提供されることを願っています。	
--	---	--